

2019年9月1日

(公財) ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会 御中

(公財) 日本ラグビーフットボール協会 御中

子どもに無煙環境を推進協議会

ラグビーワールドカップ日本大会の会場は全面禁煙とすべきです

9月20日より、日本各地（札幌、釜石、熊谷、調布、横浜、袋井、豊田、東大阪、神戸、福岡、熊本、大分市の12会場）でラグビーワールドカップ2019日本大会（ラグビーW杯）が開催されますが、これらの会場は当然に全面禁煙になるものと理解しておりました。しかし下記の共同配信でそうはなっていないことを知って、とても驚いております。

ラグビーW杯、会場ごとに屋外喫煙所 五輪と対照的（中日新聞）

<https://www.chunichi.co.jp/article/front/list/CK2019083002000275.html>

「スタジアムの喫煙所で観戦者が紫煙をくゆらす。九月開幕のラグビーワールドカップ（W杯）日本大会は、試合会場ごとに屋外の喫煙スペースが設置され、たばこを吸える環境だ。規制が強化される中、来年の東京五輪・パラリンピックでは競技会場の敷地内を完全禁煙とする方針で、識者からは「禁煙のトレンドに遅れた対応」との声も上がっている。」

花園ラグビー場をはじめとして、ラグビーW杯の競技場・スタジアムの大半に喫煙場所が設けられているとのことですが、これらは全て閉鎖し、全面禁煙のなかで、国民注視のラグビーW杯が開催されるよう、至急の対処をお願い申し上げます。

記

1. <安倍首相>受動喫煙対策を表明 「ラグビーW杯視野」（毎日新聞 2016/10月6日）

他人のたばこの煙を吸う受動喫煙対策に有効とされる、公共施設や飲食店などを対象にした罰則を伴う改正健康増進法について、安倍晋三首相は6日の参院予算委員会で、「2020年の東京五輪・パラリンピックや、19年のラグビーワールドカップ（W杯）を視野に、立法措置も含めて検討を進めていく」と述べた。松沢成文氏（無所属）の質問への答弁。

国際オリンピック委員会や世界保健機関（WHO）は五輪・パラリンピック開催都市に「スモークフリー（たばこのない五輪）」を求めているが、東京には規制がない。

松沢氏からの「(W杯前年の) 18年は(法律の) 周知期間とすると、17年に作らなければ間に合わない」との指摘には、塩崎恭久厚生労働相が「W杯までに着実に実効性が担保できるよう、早急に準備を進めたい」と答えた。

2. 丸川五輪相、受動喫煙「ラグビーW杯時点でも対策を」

2017/6/6 朝日 <https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20170606-00000037-asahi-pol>
<https://notobacco.jp/pslaw/asahi1706063.htm>

(受動喫煙防止策を強化する法案の国会提出が先送りされる見通しとなったことについて) 2020年の東京五輪・パラリンピック大会の開催もあるが、19年ラグビーW杯もある。その時点でも、しっかりとそれなりに対策をとれているということが重要だ。厚生労働省で引き続き、法案の提出に向けて努力をしていただいているので、しっかり連携をしていきたい。(閣議後会見で)

3. 来年(2019年)7月から全面禁煙 学校や病院など ラグビーW杯に間に合わせ(産経)

2018.12.18 <https://www.sankei.com/life/news/181218/lif1812180040-n1.html>

厚生労働省は18日、学校や病院、行政機関の庁舎などの屋内全面禁煙の施行日について、平成31年7月1日とする方針を決めた。自民党の厚生労働部に提示し、了承された。同年9月開幕のラグビーワールドカップ(W杯)に間に合わせる狙い。受動喫煙対策を強化する改正健康増進法は当初、同年夏頃に施行する予定だったが、施行日は未定だった。

4. 東京五輪の会場、屋外含め全面禁煙 加熱式たばこも不可

2019/2/28 日経 <https://www.nikkei.com/article/DGXMZ041878530Y9A220C1CC1000/>
<https://notobacco.jp/pslaw/asahi190228.html>

2020年東京五輪・パラリンピック大会組織委員会は28日、加熱式たばこを含め、大会期間中は競技会場の敷地内を全面禁煙にすると発表した。観客や選手、ボランティアなど来場する全ての人を対象となる。組織委によると、夏季五輪では近年、会場の屋内禁煙が進んできたが、屋外も含めた敷地内の全面禁煙は初めてとみられる。

18年には受動喫煙対策を強化する改正健康増進法が成立。事務所や飲食店など多くの人が集まる施設を原則として屋内禁煙とし、加熱式たばこも規制対象に含めた。東京都で

も受動喫煙防止条例が成立し、五輪前の20年4月に全面施行される。

組織委は国内でのこうした禁煙意識の高まりも踏まえ、加熱式たばこも含めた敷地内の全面禁煙を決定。大会を通じ、健康的なライフスタイルの推進をめざす。

5. 以上の報道等の資料により、現行の「改正健康増進法」は、2019年9月のラグビーW杯、及び2020年7月の東京五輪を目標に、政府と国会及び民間の総力をあげて長年をかけて準備され、立法化され、施行されてきたものです。

そして、「東京五輪の会場、屋外含め全面禁煙 加熱式たばこも不可」が決定されるに至っております。

6. 以上の経緯からも、ラグビーW杯の各会場は屋外を含め、東京五輪と同様に、全面禁煙とされるべきですし、国民は皆、当然にそうなっているものと理解していたはずです。

- ・喫煙場所は、屋外を含め、閉鎖をお願いします。
- ・会場入口には、その旨の掲示をし、アナウンス、また報道機関とネットでも事前広報・周知をお願いします。
- ・ラグビー選手は、海外から来る選手も含め、そのハードな運動量からしても、喫煙しないとのことで、会場内に喫煙所があることは非礼ですし、受動喫煙の危害（周りの喫煙者からの呼出煙・息を含め）を及ぼす環境を許容すべきではありません。
- ・選手だけでなく、スタッフ、及び国内外からの観客の健康を、受動喫煙と喫煙による呼出煙の危害から守るために、会場内（及び隣接屋外）の全面禁煙・喫煙所の閉鎖をよろしくお願いいたします。
- ・ラグビー選手が喫煙しないことは、観客も知っていることで、会場内禁煙には、理解・賛同が得られることは間違いないことです。逆に万一にも喫煙所があることは、海外からの選手や観客を驚かせ、日本への評価を下げることになるでしょう。
- ・日本でのラグビーW杯を、来年の東京五輪の盛会につなげ、レガシーとするためにも、ご高配をよろしくお願い申し上げます。

以 上

※各地の開催競技場・スタジアムにもお送りし、スポーツ庁にも指導・調整等を要請しました。